



みえ県議会 だより

発行／三重県議会 編集／三重県議会広聴広報会議

「みえ県議会だより」に関するご意見・ご感想をお寄せください。

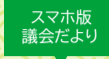
〒514-8570 津市広明町13 TEL 059 (224) 2877

FAX 059 (229) 1931 MAIL gikaik@pref.mie.lg.jp

URL https://www.pref.mie.lg.jp/KENGIKAI/

URL https://www.gijiroku.jp/mie/ (スマホ版)

URL https://www.facebook.com/miepref.gikai (Facebook)



全線開通90周年を迎える名松線 伊勢奥津駅の給水塔 (国登録有形文化財・津市) (撮影者:長谷 茂さん)

令和6年三重県議会定例会 11月定例月会議

県民の安全・安心を確保するための防災・減災、県土の強靱化の推進や、出没が相次ぐツキノワグマ対策、医師の労働環境改善対策などを行うための補正予算について審議・可決しました。また、請願2件を審議・採択するとともに、常任委員会から提出された意見書案2件を審議・可決しました。

本号の主な内容

- 1面 2024年「あなたが選ぶ!三重県議会の活動ベスト10」
- 2面～3面 一般質問、用語解説
- 4面 経済団体への要請活動、「みえ現場de県議会」開催のお知らせ、永年在職議員表彰および自治功労者表彰、県議会議員の補欠選挙とは、訂正・おわび、審議結果と主な開催実績

2024年

あなたが選ぶ! 三重県議会の活動ベスト10

各項目の詳細は県議会ホームページからご覧いただけます。



三重県議会では、議会活動について広く関心を持っていただけるよう、昨年末、県民の皆さんや県議会議員からの投票により、2024年の「三重県議会の活動ベスト10」の選定を行いました。今回選定された取り組みをご紹介します。

開かれた議会運営の実現

県民の皆さんの想いを国や知事等へ

《請願15件を受け付け》
県民の皆さんの想いがこめられた請願の趣旨をしっかりと受け止め、所管の常任委員会で審査しています。所管の常任委員会での審査結果を踏まえ、本会議で採択された請願のうち、県政に関するものは、その実現に向けてどのように取り組んだのか知事に対し報告を求め、国政に関するものは、衆参両院議長や内閣総理大臣に対して意見書を提出するとともに、実現に向けて県選出国会議員に協力を要請しています。

次代を担う児童・生徒・学生に主権者教育を実施

《みえ県議会出前講座で学校を訪問》
未来の有権者である子どもたちに、主権者教育の一環として、議会の役割等に関する授業を行っています。10月までに6校で実施し、初となる大学での出前講座も実施しました。学生からは「議会の方々が大変熱意をもって仕事をしていることを知り、感動した。議会の存在をより身近に感じることができた。」などの感想をいただきました。



出前講座の様子(三重大学)

「選ばれる三重づくり」を若者と議論

《みえ現場de県議会を実施》
川越町で「若者の人口流出について～若者に選ばれ続ける三重県をめざして～」をテーマに、三重県出身の20歳から37歳までの10名の方と意見交換を行いました。若者の就職・進学に関する考え方や三重県の将来像についてさまざまな意見をいただき、これを県の施策や予算に反映できるよう取り組んでいます。



若者との意見交換の様子(令和5年度第2回みえ現場de県議会)

高校生の想いを実現へ～11校34名からの提案を議論～

《みえ高校生県議会を開催》
5回目となる「みえ高校生県議会」を開催しました。高校生議員の提案等は、自分たちを取り巻く環境や三重県の状況、他県の事例、統計等を踏まえたものであり、三重県をより暮らしやすくするために大変重要なものばかりでした。議会では、提案等について、9月定例会の行政部門別常任委員会で議論し、参考人を招致して調査を深めたり、委員長報告に盛り込んで知事に要望などを行ったりしました。議会での議論の結果は、今後、高校生にフィードバックしていきます。



高校生議員による質問

住民本位の政策決定と政策監視・評価の推進

能登半島地震を踏まえて、対策強化予算を決定

《補正予算の議決》
能登半島地震を受けて、半島地域を有する本県内の防災・減災や県土の強靱化等の取り組みを進めるために、県の災害対応力の強化に向けた現地での調査や、被災地に提供した県の備蓄物資の補充、耐震シェルターの設置補助など、当面不可欠な補正予算を速やかに議決しました。

花とみどりで心豊かな生活の実現へさらなる一歩

《議員提出条例に基づく「花とみどりの三重づくり基本計画」の議決》
「花や木で健やかな三重をつくる条例策定調査特別委員会」で1年10カ月間にわたる議論を経て議員提出で成立した「花とみどりの三重づくり条例」に基づく、「花とみどりで優しさあふれる健やかなふるさと三重」の実現をめざし、さまざまな取り組みを進めるための基本計画を議決しました。



「花とみどりの三重づくり」ロゴマーク

子どもへの虐待根絶に向けて知事に強く意見

《児童虐待死亡事案を委員会で調査》
令和5年5月に発生した児童虐待死亡事案について、令和6年3月末に児童虐待死亡事例等検証委員会から県に報告書が提出されました。これを受けて、議会で4月に臨時で委員会を開催し、議論した結果、①養育者に寄り添った支援が推進されるよう関係機関や関係者と連携しながら取り組むこと、②市町の取組状況等について確認しながら、市町とともに再発防止に向けた取り組みを進めること、の2点を本会議の委員長報告で県に強く求めました。

独自の政策提言と政策立案の強化

食料自給力向上等を～国や知事に提言～

《食料自給総合対策調査特別委員会が提言》
令和5年5月に特別委員会を設置して以降、「食料の安定供給と食料自給力の向上」、「地産地消の取組」、「地場産品の充実」、「食」に関する教育の推進、「農林水産業の後継者・担い手の確保」の5つを重点調査項目に位置づけて、調査を重ねてきました。これを基に、特別委員会としての意見をまとめ、令和6年3月に知事へ提言を行いました。また、国に対しても、食料の安定供給及び食料自給力向上の対応強化を求める意見書を提出しました。知事への提言と国への意見書の提出をあわせて行うのは、特別委員会としては初めてのことです。



国への要望(農林水産省)

「水産王国みえ」復活へ議論を深化

《「豊かな伊勢湾の再生に向けて」をテーマに議員勉強会を開催》
伊勢湾における水産資源の減少が深刻化するなか、今年度末に議案として提出される見込みの「三重県水産業及び漁村の振興に関する基本計画」の審議の充実を図るため、議員勉強会を開催しました。勉強会では、外部有識者から、要因として指摘されている湾内の栄養塩類不足への対策など、伊勢湾再生に向けて必要な視点について解説いただき、今後の伊勢湾における水産業振興の在り方について理解を深めました。

分権時代を切り開く交流・連携の推進

紀伊半島の防災・減災対策強化へ 三県議会共同で提言

《紀伊半島三県議会交流会議の開催等》
紀伊半島三県議会交流会議で、三県の防災力向上に資する紀伊半島アンカールートの早期整備や、能登半島地震を踏まえた半島地域における防災・減災、国土強靱化等について意見交換し、その着実な推進に向けて協力・連携していくことなどで合意しました。また、三県議会が共同で、紀伊半島アンカールートの早期整備や半島振興法の延長等について国に要望を行いました。



国への要望(国土交通省)

一般質問**医療介護を現場で支える人材**

中川 正美 議員 自由民主党/伊勢市・鳥羽市選出

**問**

75歳以上人口の増加が見込まれる中、今後の医療を支えるためには、特定行為研修を修了した看護師を増やす必要があります。また、不足感が年々高まる介護支援専門員（ケアマネージャー）の確保や定着を進める必要があります。それぞれについて、県の取り組みを伺います。

答

特定行為研修を修了した看護師の増加に向けて、指定研修医療機関を増やすとともに、研修制度の概要やメリットについての説明会や相談会の開催、研修の受講費用の支援を行い、研修修了者の確保に努めます。また、介護支援専門員については、オンライン方式による更新研修受講や事務処理におけるICT機器導入支援などによる負担軽減を図るとともに、処遇の改善について引き続き国に要望していきます。

その他の質問事項

- 海洋環境の変化に対応した漁業の在り方について
- 戦略的な観光誘客について ほか

**国道477号バイパス東側延伸**

石田 成生 議員 自由民主党/四日市市選出

**問**

北勢地域と周辺の地域との道路交通をスムーズにするための計画が進みつつあります。臨港道路霞4号幹線の南側延伸ルートの検討も進められていますが、このルートの機能を十分に生かすためにも、接続する国道477号バイパスの東側延伸は欠かせません。今後の延伸計画を伺います。

答

国道477号バイパス東側延伸は、中心市街地での道路事業となり、国道1号や23号などの幹線道路との接続や鉄道との交差が想定され、周辺住民の方々の生活環境への影響が大きくなることから、県民の皆さまや周辺企業のご理解・ご協力が不可欠です。また、巨額の費用が必要となるため、慎重かつ丁寧に進める必要がありますが、渋滞による社会損失は大きく、地元の要望も踏まえて、できる限り早期に検討していきます。

その他の質問事項

- カーボンニュートラル（二酸化炭素削減）の進捗
- 食料安定供給に向けた県民への働きかけ ほか

**学校給食における地場産物食材の使用**

辻内 裕也 議員 自由民主党/桑名市・桑名郡選出

**問**

学校給食での地場産物の使用は、県内農家の所得増につながる数少ない需要です。県内の学校給食における地場産物の使用割合は全国平均をやや上回っていますが、この割合をさらに引き上げる必要があると考えます。これまでの取り組みと課題について伺います。

答

学校給食での地場産物の利用拡大は、安全・安心な食材を安定的に供給するための一定の要件を満たすことを前提として、積極的に進める必要があると考えています。利用拡大を図るうえでは、特定の食材を一定量確保すること等が課題となっておりますが、取り組みを進める中で、規格外の地場産物の加工品が給食に活用されるなどの成功例が生まれています。引き続き、利用拡大に向けて積極的に取り組みます。

その他の質問事項

- 県産品の輸出について
- 宿泊税導入検討における慎重な対応について ほか

**避難所での生活が難しい“災害弱者とその家族”の避難先確保**

山内 道明 議員 公明党/四日市市選出

**問**

発達障がいや知的障がいのある方等、さまざまな事情で通常の避難所では落ち着いた生活が困難な方は、避難場所の確保と避難所での支援に不安を抱えています。車中泊避難のスペースの事前確保や公表、ホテルや旅館の活用などにより、避難先の確保に取り組むべきではないでしょうか。

答

車中泊避難スペースの事前公表は、災害の状況によって、そのスペースが避難先として適当か、支援体制が確立できるかなど、さまざまな観点で検討が必要のため、市町と意見交換をしながら取り組みます。また、大規模災害時、配慮を要する方とその家族が旅館やホテルへ避難できるよう、三重県旅館ホテル生活衛生同業組合との間で協定を締結しており、こうした民間事業者との連携も進めながら、安心できる避難先の確保に取り組めます。

その他の質問事項

- “発達障がいのある子どもとその家族”への支援充実に向けた地域における支援ネットワークの構築
- 犯罪組織(集団)によるSNSを通じた“闇バイト”から未来ある若者を守る取り組み

**献血推進について**

森野 真治 議員 新政みえ/伊賀市選出

**問**

献血による輸血用血液の安定供給のためには、特に若年層の方々の献血への理解と協力が不可欠です。高等学校における学校献血として、体への負担が少なく年齢と体重の基準が緩和される200mL献血を推進することで、その後の献血への動機付けにもなると考えますが、いかがですか。

答

現時点で、県内の血液供給に支障は出ていませんが、今後、人口減少・高齢化が一層進むなか、現状のままでは血液供給がひっ迫する事態も想定されるため、若年層の献血を促進し、将来に向けた献血人口を確保していく必要があります。若年層の初回献血として200mL献血を実施することは一つの好機であると考えますので、三重県赤十字血液センターに対し、献血バスでの200mL献血の実施について、積極的に働きかけます。

その他の質問事項

- 出産子育て支援について
- 安定型産業廃棄物最終処分場の新規設置 ほか

**OD(オーバードーズ)防止対策**

川口 円 議員 新政みえ/津市選出

**問**

市販薬等のオーバードーズ(過剰摂取)は、急性中毒による意識障害や錯乱などを引き起こし、命に関わる危険があります。東京では若者のODが増え続けており、地方への波及も考えられます。ODの防止対策、なかでも救急搬送後のサポートについて、県の取り組みを伺います。

答

県では、学校での医薬品の適正使用の啓発や、ドラッグストア等への販売規制の周知徹底、こころの悩みへの相談対応や、自助グループ・依存症治療拠点機関等と連携した生活支援・専門治療の受診調整など、「未然防止・入手防止・再乱用防止」の各段階における取り組みを一体的に進めています。また、救急搬送された方が専門医療機関や相談窓口につながるよう医療機関に案内の協力を依頼しており、引き続き市販薬の乱用防止に努めます。

その他の質問事項

- 避難所における暑さ・寒さ対策について
- 香良洲海岸の松枯れについて ほか

一般質問



近畿自動車道紀勢線の進捗状況

谷川 孝栄 議員 自由民主党/東紀州選出



問 12月7日、待ちに待った熊野川河口大橋を含む近畿自動車道紀勢線新宮紀宝道路の開通式を迎えます。三重県と和歌山県を結ぶ橋が通行止めとなった13年前の紀伊半島大水害からの復旧復興の証となる新宮紀宝道路の開通です。この後に続く熊野道路と紀宝熊野道路の進捗状況を伺います。

答 熊野道路については、令和3年度に用地取得が完了し、熊野市内各所において工事が着実に進められています。紀宝熊野道路では、地元の協力を得て、熊野道路から御浜町志原にかけて用地取得が順調に進んでおり、その先の地域についても用地取得に向けた準備が進んでいます。今後も引き続き関係者と連携し、あらゆる機会をとらえて国へ紀勢線の重要性を訴え、早期の全線開通に向け、取り組んでいきます。

その他の質問事項

- 三重県水産研究所の使命
- 放置船対策について ほか



チームMIEでクラウドファンディングを

喜田 健児 議員 新政みえ/松阪市選出



問 新たな財源確保のためにクラウドファンディングを活用する都道府県が増えており、官民連携による創意工夫あふれる事業が展開され、子どもや教育に関する取り組みにも多く用いられています。県においてもクラウドファンディングをより積極的に活用してはいかがですか。

答 寄附者が自治体の応援したい事業に寄附をしながら寄附金控除や返礼品を受けられるふさと納税型のクラウドファンディングを活用する自治体が増えており、県でも来年度から開始できるよう準備を進めています。子どもや困難を抱えた方に対するクラウドファンディングを含めて、各部局に対して積極的な活用を求め、県内外の多くの方々に県の事業を応援いただけるよう取り組み、多様な財源の確保に努めます。

その他の質問事項

- 親なきあと、待機障がい者の問題について
- 三重県が発注する公契約を社会モデルに ほか



街路樹について

津田 健児 議員 自由民主党/四日市市選出



問 日本一街路樹が美しいといわれる仙台市では、街路樹の強剪定を行わないことはもとより、街路樹ごとにIDを付け、樹種や健康状態などをデータ化して維持管理しています。県においても、街路樹の一本一本を管理し整えていく方式に変えていくことが望ましいと考えますが、いかがですか。

答 県では、「花とみどりの三重づくり条例」の制定過程での有識者の意見等を踏まえ、街路樹の強剪定をやめるようにしていきます。今後は、全ての街路樹について1本ごとに健全度を診断し、その結果を基に街路樹台帳を作成し管理することで、街路樹本来の景観向上や環境保全、木陰形成などの機能が将来にわたり発揮され、交通安全等が確保された県民が誇れる街路樹となるよう、計画的な整備や維持管理に努めます。

その他の質問事項

- 再生可能エネルギーに関する検討会「提言」を受けての県の対応について
- エシカル消費について ほか



大規模地震を見据えた道路網の整備

荊原 広樹 議員 新政みえ/名張市選出



問 南海トラフ地震が発生した場合、県の沿岸部から内陸の名張市に避難する道路は、国道368号と165号の2本だけです。有事の際にこれらの道路が使えないということがあってはなりません。有事に備えるための、広域道路ネットワークの形成や緊急輸送道路の指定の考え方を伺います。

答 令和3年に策定した新広域道路交通計画において、災害に備えたりダンダンシー確保、国土強靱化等の観点から、広域道路ネットワーク強化に必要な路線を位置付けて、中長期的な視点で取り組んでいます。また、緊急輸送道路は、発災時の救助・救急・医療・消火活動や人員・物資の供給に必要不可欠な道路を指定し、優先的に土砂災害防止対策や橋梁の耐震補強、未改良区間の整備等の強靱化対策を進めています。

その他の質問事項

- カスタマーハラスメント対策
- 猫の適正飼養 ほか

用語解説 (2~3ページの「一般質問」に関するもの)

① 特定行為研修

看護師が手順書により、特定行為(診療の補助として看護師が手順書により行う場合、実践的な理解力、思考力及び判断力並びに高度かつ専門的な知識及び技能が特に必要とされる38行為)を行う際に特に必要とされる考え方や知識、スキルの向上を図るための研修のことです。

② 200mL献血

全血献血には200mL献血と400mL献血があります。採血には複数の基準があり、このうち年齢と体重の基準は以下の表のとおりです。

全血献血		男性		女性	
		年齢	体重	年齢	体重
400mL	年齢	17歳~69歳		18歳~69歳	
	体重	50kg以上			
200mL	年齢	16歳~69歳			
	体重	45kg以上		40kg以上	

ただし、65歳から69歳の方については、60歳に達した日から65歳に達した日の前日までの間に採血が行われた方に限ります。

③ リダンダンシー

「冗長性」、「余剰」を意味する英語であり、国土計画上では、自然災害等による障害発生時に、一部の区間の途絶や一部施設の破壊が全体の機能不全につながらないように、あらかじめ交通ネットワークやライフライン施設を多重化したり、予備の手段が用意されていたりする様な性質のことです。

④ 強剪定(きょうせんてい)

主要な太い枝を短く切り詰めたり、多くの枝葉や芽を切り落としたりするような剪定のこと。一度に大量の枝や芽が落とされると、普通は枝葉を生じない場所から大量に枝葉が出てしまうため見た目も悪く、いびつな樹形となります。また、強剪定を繰り返すことで木が弱り、病気や倒木の原因となります。



改正食料・農業・農村基本法について

舟橋 裕幸 議員 新政みえ/津市選出



問 本年6月、農業の憲法ともいわれる「食料・農業・農村基本法」が改正され、基本理念に「食料安全保障の確保」が定められました。現在県が進めている「三重県食を担う農業及び農村の活性化に関する条例」の一部改正や同条例に基づく基本計画の見直しに、どのように反映していくのか伺います。

答 食料安全保障に対する県の役割は、安全・安心な農産物の安定的な生産および供給であると考えており、条例の改正にあたっては食料自給総合対策調査特別委員会からの提言も踏まえ「自給力の向上」を新たに位置付けます。また、基本計画でも、農畜産物における食料自給力の強化に注力して取り組めます。引き続き、農業関係者等の意見を伺いながら、「食料・農業・農村基本法」の基本理念に対応して、条例と基本計画の見直しを進めます。

その他の質問事項

- 津エアポートラインに対する支援について
- 三重県農業研究所整備について ほか



「みえ現場 de 県議会」開催のお知らせ

三重県議会では、県民の皆さんの多様な意見を県議会での議論に反映することを目的として、平成22年度から「みえ現場 de 県議会」を開催しています。今回は「SDGsにも貢献する森林・林業」をテーマに、熊野市において、森林の整備や森林・木材の活用の観点で企業や団体などの関係者の方々からご意見を伺います。

テーマ SDGsにも貢献する森林・林業

開催日時 令和7年2月14日(金) 14時から16時まで

開催場所 熊野市文化交流センター 多目的ルーム(熊野市井戸町643-2)

傍聴 事前申し込みは不要で、どなたでも傍聴いただけます。

永年在職議員表彰および自治功労者表彰

三重県議会議員としての、永年にわたる県政への功労に対し、11月21日の本会議において、議会と知事から永年在職議員表彰が行われました。

また、全国都道府県議会議長会からの自治功労者表彰が議長から伝達されました。

永年在職議員表彰

在職25年以上 日沖 正信 議員

自治功労者表彰

在職25年以上 日沖 正信 議員
在職15年以上 長田 隆尚 議員
森野 真治 議員

訂正・おわび

令和6年12月1日発行の「みえ県議会だより (NO.208)」に記載の誤りがありましたので、次のとおり訂正し、おわび申し上げます。

訂正内容	4ページ	(誤) いなべ市立稲部小学校
	『「出前講座」を実施しました』内 本文2行目	(正) 東員町立稲部小学校

経済団体への要請活動

地方議会は、地域住民の多様な声を把握して、幅広い視点で地域の在り方や課題を議論し、自治体の重要な意思を決定する機関です。

一方、地方議会議員に立候補する際には、勤務先を退職することが多く、地方議会における議員のなり手不足や、世代や性別などの住民の構成と乖離した議会構成等の大きな要因の一つとなっています。

このようななか、その解決に向けて、勤労者(特に女性や若者)が地方議会に参画しやすい環境を整えるため、地域社会の重要な一員である県内の各企業においても取り組みを進めていただくよう、正副議長による県内の四つの経済団体への要請活動を実施しました。



三重県中小企業団体中央会への要請活動の様子

要請内容
各企業の就業規則における
● 立候補に伴う休暇制度の新設
● 議員との副業・兼業の容認
について、各経済団体の傘下団体・企業に対する周知等の協力

要請先
● 三重県中小企業団体中央会
● 三重県経営者協会
● 三重県商工会連合会
● 三重県商工会議所連合会

県議会議員の補欠選挙とは

県議会議員の補欠選挙の実施時期については、公職選挙法において、①定数が複数の選挙区で2人以上の欠員が生じたときまたは定数が1人の選挙区で欠員が生じたときは50日以内に、②①に該当しなくても県知事選挙が行われるときは同時に、補欠選挙が行われることなどが定められています。

三重県議会では令和6年10月に鈴鹿市選挙区(定数4人)選出の議員が1名辞職し、同年11月に伊賀市選挙区(定数2人)選出の議員が1名退職しましたが①に該当しないため、同選挙区で他に辞職等がない場合は②により令和7年9月12日に任期満了となる三重県知事の選挙の際に、併せて県議会議員の補欠選挙が行われる見込みです。

審議結果と主な開催実績(11月定例会会議)

審議結果

可決した議案

- 予算**.....
- 令和6年度三重県一般会計補正予算(第3号) ほか16件
- 条例**.....
- 三重県安心こども基金条例の一部を改正する条例案 ほか5件
- その他議案**.....
- 当せん金付証券の発売について ほか13件

認定した一般会計・特別会計決算

- 令和5年度三重県一般会計歳入歳出決算
- 令和5年度三重県債管理特別会計歳入歳出決算
- 令和5年度地方独立行政法人三重県立総合医療センター資金貸付特別会計歳入歳出決算
- 令和5年度三重県国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算
- 令和5年度三重県母子及び父子並びに寡婦福祉資金貸付事業特別会計歳入歳出決算
- 令和5年度三重県子ども心身発達医療センター事業特別会計歳入歳出決算
- 令和5年度三重県就農施設等資金貸付事業等特別会計歳入歳出決算
- 令和5年度三重県地方卸売市場事業特別会計歳入歳出決算
- 令和5年度三重県林業改善資金貸付事業特別会計歳入歳出決算
- 令和5年度三重県沿岸漁業改善資金貸付事業特別会計歳入歳出決算
- 令和5年度三重県中小企業者等支援資金貸付事業等特別会計歳入歳出決算
- 令和5年度三重県港湾整備事業特別会計歳入歳出決算

採択した請願

- 私学助成について
- 養鶏経営の維持及び発展について

可決した意見書案

- 私学助成の充実を求める意見書案
- 配合飼料価格安定制度の改善を求める意見書案

議員別の賛否等の状況 (PDFファイル)

11月採決分



12月採決分



主な開催実績

10月

- 23日~24日 **予算決算常任委員会**
令和7年度当初予算編成に向けての基本的な考え方についての調査
- 30日 **予算決算常任委員会**
一般会計・各特別会計決算認定議案にかかる総括質疑
- 31日 **予算決算常任委員会3分科会**
議案の審査、所管事項の調査

11月

- 1日 **医療保健子ども福祉病院常任委員会・分科会**
議案の審査、所管事項の調査、参考人の出席要求
- 予算決算常任委員会2分科会**
議案の審査、所管事項の調査
- 5日 **伊勢茶の振興に関する条例策定調査特別委員会**
参考人からの聴取 ほか
- 15日 **予算決算常任委員会**
決算認定議案の審査、所管事項の調査
- 21日 **本会議**
認定議案12件認定、議案35件上程
ワンヘルス推進調査特別委員会
参考人の出席要求

- 26日 **本会議**
議案質疑(2人)
ワンヘルス推進調査特別委員会
参考人からの意見聴取 ほか
- 28日 **本会議**
一般質問(5人)

12月

- 2日 **本会議**
一般質問(4人)、議案2件上程
予算決算常任委員会5分科会
議案の審査、所管事項の調査
- 4日 **本会議**
一般質問(3人)、議案2件可決
予算決算常任委員会
議案の審査
- 5日 **予算決算常任委員会**
「令和7年度当初予算要求状況」についての調査
- 6日 **予算決算常任委員会**
「令和7年度当初予算要求状況」にかかる総括的質疑
- 9日~12日 **各常任委員会・分科会**
議案の審査、所管事項の調査 ほか
- 13日 **医療保健子ども福祉病院常任委員会**
参考人からの意見聴取、所管事項の調査
- 16日 **ワンヘルス推進調査特別委員会**
委員長報告案について
- 17日 **予算決算常任委員会**
議案の審査、所管事項の調査
- 19日 **本会議(令和6年定例会閉会)**
議案35件可決、請願2件採択、意見書案2件可決
- 25日 **ワンヘルス推進調査特別委員会**
委員長報告案について ほか

※この他にも、さまざまな会議を開催しました。